



総領事新年のご挨拶

在デトロイト日本国総領事
和田 充広

JBSD会員の皆様、新年明けましておめでとうございます。旧年中は、JBSDの皆様には大変お世話になりました。本年もどうぞよろしくお願い致します。

昨年を振り返ってみますと、思っていたより暖かかった初めてのミシガン州の冬に救われながら、1月のデトロイト・オートショー、8月の三日月 滋賀県知事のミシガン州訪問、11月の天皇誕生日レセプションなど様々な活動を精力的に行ってきました。また、総領事公邸を活用し、日系企業の皆様と当地の政治指導者、アメリカ人コミュニティとの連携強化や、当地のアジア系コミュニティ相互の関係強化を図るなどいろいろな活動を行ってきました。この間、在留邦人の皆様や日系企業が、地元根付きながら地域に貢献されている様子をいろいろな機会に知ることができました。改めまして皆様のご尽力に敬意を表するとともに、心から感謝申し上げます。

当館の所在するデトロイト市ですが、新しくお店がオープンするなど復興に向けた歩みを着実に進めつつあります。

9月のデトロイト・ジャズ・フェスティバルでは、日本からアーティストの参加を得て、非常に盛り上がったフェスティバルとなりました。また11月には、中西部最大級のアニメとコスプレの日本ポップカルチャーイベント「Youmacon 2016 (ヨウマコン)」が開催され、私もコスプレコンテスト審査員として参加しました。日本のアーティストやポップカルチャーがデトロイトの街の盛り上がりに一役買う様子を見ることができ、非常に嬉しく思います。日本文化の発信、日米文化交流についても、皆様の協力を得ながら引き続き頑張っていきたいと思っています。

さて、昨年は大統領選挙が終わり、これからトランプ次期大統領による政権運営が始まります。選挙が終わって早々に、外国の指導者としては最初に安倍総理との会談がなされたことは、トランプ次期大統領も日本をパートナーとして重視していることの証であると思います。これから、新政権の政策が明らかになってくると思いますが、総領事館としては、良好で安定した日米関係を今後と



も維持、発展できるよう引き続き最大限努力していきたいと考えています。

また、JBSDなどのご協力を得て実施している領事出張サービスを始め、旅券や戸籍等の各種証明関係事務の更なる充実・向上にも努めていきますし、安全に関する情報についてはタイムリーに発信するなど、皆様が安心して生活できるように安全対策の拡充を続けていきます。皆様の生活に役立つ情報は、ホームページ、メールマガジン、Facebookなどを活用してお伝えしていきますので、是非ご覧ください。「敷居が低い」のではなく、「敷居のない」総領事館を目指して頑張りますので、お気づきの点等ございましたら、遠慮なくご連絡、ご指摘ください。

今年一年の皆様のご健勝とご多幸を心より祈念申し上げまして、新年の挨拶とさせていただきます。

今月のViews

在デトロイト日本国総領事館提供によるトピックス ...	2
リレー随筆: 山登りとトレッキング!	3
自動車産業セミナー開催報告	4
JBSDチーム対抗ボウリング大会	4

JBSD 基金: 留学生からの手紙	5
獣医さんのおはなし: “撫でる” 習慣	6
補習授業校新規採用説明会ご案内	7
イベント情報	7

編集委員の独り言	7
今後のJBSD 行事予定	8
事務局長だより	8
JBSD 事務所移転のお知らせ	8

在デトロイト日本国総領事館提供によるトピックス

青少年交流プログラム 「カケハシ・プロジェクト」

日本政府は、日本とアジア大洋州、北米、欧州、中南米の各国・地域との間で、将来、各界で活躍が期待される優秀な人材を招へい・派遣する事業を実施しています。

招へい者を対象に、日本の政治、社会、歴史及び外交政策に関する理解促進を図るとともに、親日派・知日派の発掘による日本の外交基盤の拡充、さらに彼らに日本の魅力等を積極的に発信してもらい、国際社会における対日イメージ向上や日本への持続的な関心の増進を目的とするのが、「対日理解促進プログラム」と呼ばれる事業です。

このうち2013年から開始された北米地域事業を「カケハシ・プロジェクト」と呼び、全米各地の大使館・総領事館が地域の高校生・大学生の募集および日本から米国を訪問する学生の受け入れ支援等を行っています。

当館では12月1日、デトロイトを訪問中の金沢大学の学生・教職員を含む

25名の派遣団による訪問があり、意見交換会が行われました。野田首席領事からは、自身がこれまで経験した様々な異文化経験について語った上で、将来国際人を目指す学生の皆さんにも異文化を体験しつつ訪問先の高校や大学で同世代の仲間と交流を深めてほしい旨激励しました。アメリカは初めてという学生も半数近くいる中、皆さん日本や金沢の魅力を実アメリカ人に伝えたいという意欲に燃えており大変頼もしく感じられました。中には「カガノトーンズ」というアカペラグループを結成し石川県の魅力を紹介するオリジナルご当地ソングを制作するというユニークな活動をされているメンバーもあり、皆さんの発信力の高さに大変感心しました。インターネットを使って簡単に情報が手に入る現代、外国について調べることは容易ですが、やはり

実際にその国や地域から来た人によって直接語られる言葉は説得力があり、より魅力的に聞こえるものと思います。こういったプログラムを通して日米の若者同士が相互理解を深め、将来の日米関係の架け橋となってくれることが大いに期待されます。

なお、2月には東海大学、3月には中部大学と静岡大学からの派遣団がデトロイトを訪問することになっており、各訪問団が1週間のプログラムを終えた際に、各自が個別の成果を英語で発表するまとめの報告会はどなたでもご参加いただけますので、ご興味のある方は当館広報文化班 (pr@dt.mofa.go.jp) までお問い合わせください。



外務省では上記プログラム以外にもJETプログラム(注:日本の地方公共団体が国際交流の実施及び語学教育向上のため外国青年を特別職の地方公務員として任用するプログラム)やジュニアサミット等、様々な青年交流プログラムを実施しています。今後も引き続き、日米双方の相互理解を深める事業を推進して参りたいと思います。

■ お知らせ ■

Facebookで、当館の活動紹介のほか、日本関連情報やミシガン/ オハイオ州の耳寄り情報も発信していますので、是非「いいね!」をお願い致します。

Facebookページ ▶ www.facebook.com/cgj.detroit

在留邦人の皆様に有益と思われる情報や各種お知らせをメールでお送りするメールマガジンを配信していますので、是非ご登録ください。

詳細はこちら ▶ www.detroit.us.emb-japan.go.jp/jp/newsletter

旅行や海外出張される場合は、是非、「たびレジ」に登録を!!

旅行日程・滞在先・連絡先などを登録すると、滞在先の最新の海外安全情報や緊急事態発生時の連絡メール、また、いざという時の緊急連絡などが受け取れるシステムです。

詳細はこちら ▶ www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg





223回 リレー随筆

山登りとトレッキング！

Sanyo Corporation of America

おおた なおき
太田 直樹

新年明けましておめでとうございます。早いもので、私はミシガン3回目の新年を迎えました。皆様寒いミシガンの冬をいかがお過ごしでしょうか。

私の趣味はゴルフ、テニス、旅行、写真、ダジャレ、岐阜県人会...と色々ありますが、やはり一番の趣味はと言えば山登りでしょうか。とは言え、まだ経験は浅く山登りを始めたのも2013年からです。きっかけは「付き添い登山」です。この年、富士山が世界遺産に登録されました。アメリカにある仕入先が、日本で実施するグローバル営業会議に合わせて、彼ら独自の富士山登山を企画しました。彼らは世界中から集まる外国人ばかり30名ほどの登山を考えていましたが、私の会社内からも万一の安全を考えて、誰か日本人の引率をつける必要があるのでは？という意見があり、登山経験は全くありませんでしたが、なぜか私が一緒に登ることになりました。あいにく当日は雷雨を伴う悪天候で、結局7合目にもたどり着けず、下山することになりました。

皆一様にがっかり、という感じでしたが私は一人密かに興奮したことを覚えています。「山登り、何て面白いんだ！」と。その後、短期間で会社の同僚や友人たちと色々な山に登りました。また妻も元々「山ガール」だったので、一緒に山歩きをしました。アメリカ駐在が決まった時、ミシガンに山が無いことは聞いていましたので、これでもう山登りができなくなる、と慌てて5週連続で毎週末登山をしました。5週間目の最後には日本の登山で思い残すことの



無いように、妻と富士山登山をしました。この時は山頂まで僅か100mほどのところで山頂を目指す人の「渋滞」にあい、その場でご来光を拝みました。素晴らしいご来光に感動した後は登頂するモチベーションが全く上がらず、またしても登頂せず下山をしました。

ここミシガンでも、山に登りたいのは“山々”なのですが登るような山がありません。代わりにいつもの素晴らしいトレッキング(ハイキング)トレイルがあります。私のオススメはUpper PeninsulaにあるPictured Rockでしょうか。数マイル歩いた先にある夏の真っ青なLake Superior。秋には紅葉を楽しみながら。冬～春にはいくつもの滝が凍り、幻想的な風景を見ることができます。また、ミシガンにはState ParkやMetro Parkなどにもトレッキングコースが数多くあり、冬でも雪の上を歩くことができます。私のお気に入り、友人とトレッキングをしながらガスストーブを使い熱い味噌ラーメンを食べることです。-10℃の中トレッキング&ラーメンを食べる経験は他ではなかなかできません。こここのところの暖冬で、雪が降らず少々物足りない気がしています。冬のトレッキング仲間を増やそうと、友人に\$200以上するスノーシュー購入を勧めて、買ってもらった途端に雪が全く降らなくなり、その友人は、一度も

スノーシューを使うことなく日本に帰任してしまうというハプニングもありました。

ミシガンでのトレッキングを存分に楽しんでいます。やはり山登りをしたい気持ちをどうにも抑えることができず、Colorado RockyのFlattop Mountainという山に登りました。富士山よりも高いと思いこんで相当な気合いを入れて登ったものの、登った後に実は標高3756mと富士山より僅か20m低い山だったことを知りました。我ながら間抜けに思いましたが、アメリカでも登山ができたことへの充実感がありました。途中、我らが岐阜県の県鳥である「ライチョウ」を見ることもできました(岐阜では見たことはありません)。登山翌朝に早く起きて、John Denverを聞きながらドライブ、エルクやビッグホーンシープなどに出会えるのはまさに至福のひと時でした。

2014年9月からのミシガン駐在以来、すぐにアメリカが大好きになりました。ただやはり日本も大好きです。まだ1歳の息子が成長したら、いつか妻と3人でまた富士山を登山して今度こそ登頂できたら素晴らしいですね。私のささやかな将来の夢の一つです。

2月号のバトンは、Aisin Technical Center of Americaの森山さんにお渡しします。

JBSD イベント報告

JBSD 商工部会・みずほ銀行共催

自動車産業セミナー開催報告

去る11月8日(火)、みずほ銀行のご協力によりSuburban Collection ShowplaceにおいてJBSD商工部会との共催セミナーを開催しました。

セミナーは第一部と第二部に分けて行われました。第一部では、セミナー当日が投票日となった米国大統領選挙と選挙後の米国経済について、第二部では、転換点を迎える自動車産業について解説が行われました。それぞれの講師、講演項目と要旨は以下の通りです。

第一部：2017年以降の米国経済

一 大統領選挙後の米国の行方

1. 米大統領選の評価

異例の大統領選の背景には、リーマンショック後高まったままの、米国民の「不満」。ただし、新大統領の下でも、大胆な政策変更は見込み薄。「内向き志向」を強めることが懸念材料

2. 米国経済の現状

2016年第3四半期は2%成長に回復、設備投

資は弱い、個人消費は底堅い。企業部門はサービス業が堅調、製造業は緩やかながら回復の兆し

3. 2017年の展望

今回の景気拡大は、「細く長い」可能性。局地的なバブルも致命傷にはならず。FRBは1年ぶりの利上げをうかがうが、実施後も金利上昇幅は限定的となる可能性。結果、2017年の米国経済は2%成長に回帰、ドル円相場は100円一桁台で推移

4. 米国が抱える構造問題

当面景気後退入りはなくとも、低生産性という「構造問題」を抱え続ける。新政権は、「少ないパイ(成長の果実)」の「最適配分(格差是正)」も求められる

第二部：転換点を迎える自動車産業

一 求められる二つの決断

はじめに

- 自動車というプロダクトを定義した技術革新の歴史：要素技術、生産技術
- 自動車産業に求められる二つの対応：量産ビジネスへの対応、自動車ビジネス変容への対応



第1章：中国自動車産業の動向と競争環境の変化

1. 中国自動車産業の課題
2. NEV 規制の導入
3. NEV 規制がもたらす競争環境の変化

第2章：モビリティへとシフトする自動車産業の挑戦と新たな機会

1. 自動車量産ビジネスの成長限界とモビリティの台頭
2. モビリティソリューションの動向

第一部講師：新形 敦氏

みずほ総合研究所 ニューヨーク事務所長

第二部講師：竹田 真宣氏

みずほ銀行産業調査部

自動車・機械チーム 調査役

本セミナーに関するお問い合わせ先：

伊藤 琢也

Mizuho Bank, Ltd. Americas Corporate
Banking Department No.1 (Chicago)
Tel: 312-855-8360
E-mail: takuya.ito@mizuhocbus.com

JBSDチーム対抗ボウリング大会 AISIN-1 優勝！

恒例となりましたJBSDチーム対抗ボウリング大会の2016年度第2回目が、去る11月20日(日)にCanton市の“SUPER BOWL”にて開催されました。冬が近づき、朝の気温も下がり始める中、24チーム、111名にご参加いただき、大変盛り上がりしました。

ゲームが始まると、皆様思い思いに楽しまれ、お知り合いの方々のスコアを気にしたり、日ごろの練習の成果を思い切りぶつけたり、それぞれの楽しみ方で楽しいひと時を過ごされていました。

ゲーム方式は各チームの上位3名のスコア×2ゲームの合計を競うもので、

9歳以下のお子様、12歳以下のお子様、女性の参加者に、それぞれハンディキャップを設けております。

今回、見事優勝の栄冠を手にしたのは、1263点を獲得されたAISIN-1の皆さんでした。おめでとうございます。

上位2チームの得点は1200点を超え、優勝争いはとてもハイレベルな戦いとなり、観ている人々を魅了するものでした。

ご参加いただいた皆様、大会の進行にご協力賜りまして誠にありがとうございました。本年第1回目の開催は、2月12日(日)を予定しております。次回も



どうぞ皆様お誘い合わせの上、奮ってご参加いただきますよう幹事一同お待ちしております。

(JBSDスポーツ部会：滝口)

JBSD 基金 スカラシップ受賞者エッセイ

「YFU日本交換留学プログラムを終えて」

JBSD基金では、1992年の基金設立以来、会員の皆様から頂戴したご寄付をスカラシップやグラントとして毎年様々なかたちで地元団体、教育機関、学生などへ供与し、当地コミュニティに貢献しています。今回は、当基金のスカラシップを受け、昨夏日本での6週間に渡る留学を終えた学生よりお礼のエッセイが届きましたのでご紹介します。

I am so grateful to have been able to go abroad as an exchange student to Japan. I would like to thank the JBSD for this amazing opportunity that would not have been possible without them. This was truly the most incredible and life changing experience that I could ever have. I would do it all over again in a heartbeat.

This experience started even before I left. The preparation for the trip took a lot of thinking and time. My advice is to not wait until the last moment and start far in advance. When I first heard I was going to have this unbelievable opportunity to study abroad in Japan I could not believe it. I still could not completely believe it until I was on the plane heading for Japan. Getting ready to leave helped me prepare better for what was coming. I got to research Nagoya, the city where I was going, to learn all about it culturally as well as find out what kind of weather they had and also if I needed to bring any supplies for school. I went shopping often before I left to buy clothes appropriate for where I was in Japan and any supplies I might need. When I went shopping it got me thinking how different the styles of clothing are in different parts of the world. While going around and getting all these clothes and supplies, I noticed how much I had to pack. This made me think, "What do I really need bring? What are the necessities?" I learned what is crucial to have in any country and not just my own. Even before I left for Japan, I was already adjusting the way I thought about the world and learned what some of the necessities to life were.

When the dream finally turned into reality and I was in Japan, I had a wonderful host family. With my family it felt like I was a true part of the family, not just an exchange student being hosted by them and living in their house. I had a mom and dad there as well as a sister who was 17. I actually had already lived with my sister for about 10 months in America because I hosted her as an exchange student. Because of that, we were already close friends and sisters. I saw my sister and mom often because they were home most of the time and they were who I went everywhere with. On the other hand, I did not see my dad frequently. He was a doctor and spent a lot of time at the hospital, but when he was home he would love to make jokes and

take us all out to dinner. Communication was very important and my family had many ways of making it easier to communicate and understand each other. My mom would first just speak to me in Japanese and if I understood we would keep talking and everything was well. If I couldn't understand her she would get a piece of paper and write down what she said. Using the writing not only helped me understand and communicate with my mom, but it also helped me improve my Japanese. When we would all be eating at the dinner table and I didn't know what we were eating, I would ask. If I didn't know what it was I was eating my dad would pull out his iPad mini, which he loved, and use it. He would first use google translate to show me what it was in English, and then he would go to images and show me them. In case of an emergency my sister did speak English almost fluently. Along with my immediate family I also met my grandparents, aunt and uncle, and cousins. Family get-togethers were so much fun! We would go out to my grandparents' house which was right next door to my aunt and uncle's house. My host family in Japan will always be a part of me and always be my family.

Japan was magnificent, but did have some ups and downs. The one experience I had in Japan that was hard at first for me was school. You're going to this high school with a bunch of teenagers you don't know and who already have their set groups of friends. For me that was intimidating and a little outside my comfort zone, but I knew that Japan was going to push me out of that comfort zone and make me a better, more evolved person. The first days of school were hard for me because I hadn't made any friends yet, and this made me feel like I was an outsider. Those first couple days were the only days I felt like that. I started to talk to some of my classmates and soon found a great group of people that I became good friends with. We would all go out exploring the city, and one time they even threw a little okonomiyaki party for me when they heard it was my favorite. Even though times may seem hard, all you have to do is try. One of my favorite times in Japan was going to Tokyo Disney and Tokyo DisneySea with my mom and sister for my 16th birthday. We all had an elated time there and bonded as



a family. We played a version of old maid as we waited in line and I also taught them how to play go-fish. It was nice to just spend time with them at such a fun place like Tokyo Disney. I also had an incredible time going out to watch sumo wrestling practice with my friend and his family. My family and friends is what made this experience unforgettable. The connections I made will always be with me and I hope to be able to see them all again someday.

I could not have asked for a better experience. This exchange has changed me for the better and I have established a new way of thinking. Learning how to communicate with others in a different language and understand a different culture was hard at first, but once I learned it became a part of my life. This experience has also made me appreciate other cultures and understand how different peoples' ways of life can be. I became a better and more independent person in Japan because I was forced to step outside my comfort zone and grow as a person, but also because I learned to navigate Japan by myself. I feel that anyone who has the opportunity to go abroad should take it. It broadens your mindset to think not only of yourself and how it affects you, but also of others and how it affects them. Learning about Japanese culture in my language classes was interesting, but living in a different culture was life how I really learned. I went to temples, attended tea ceremonies, and most importantly engaged in conversations about culture with my family and friends there. This exchange was one of the best decisions and experiences in my life. I would say the only downside is that I wasn't able to stay longer!

Lillian Johnson



“撫でる”習慣

獣医

中村 綾香



新年明けましておめでとうございます。ミシガン在住の皆様とペット達のご健康とご安全を心よりお祈り申し上げます。

うちでは、おこげという名の5歳半の雑種の犬を飼っています。おこげは正に雑種の典型といった感じで、もらってきたシェルターでは柴犬とポメラニアンとのミックスと言われたものの、数か月前犬猫の避妊手術のボランティアで行ったカリブの島には、おこげにそっくりな野良の雑種犬が大小たくさんいました。雑種だから血統書付きの犬に付き物の遺伝の病気もないだろうし、今まで病気もしたことがないので、健康だけが取り柄だね、と家族で言っていたのですが、そのおこげにも最近ひやりとする出来事がありました。こう言うと一大事ようですが、そんなに深刻な話ではないので安心して読み進めてください。

おこげの右膝の内側には、実は昔から直径5mm未満の小さなしこりのような腫瘍があったのですが、数年間なんの変化もなく、おこげも気にしていないようだったので観察していました。それが最近、おこげがその辺りをずっと舐めているのに気づきよく見てみると、その腫瘍がかなり大きくなっていました。舐めたために腫れてきたというのもあり、赤くなって前より3〜4倍ぐらいのサイズに膨れ上がっていました。とりえずエリザベスカラー（傷口をなめることを防ぐために動物の首につける大きな襟のような保護具）を付けこれ以上舐めないようにし、塗り薬を塗ると大分

腫れも引きましたが、元のしこりがやはり以前よりは大きくなっているようです。ただの出来物かな？と思いつつ、やはり心配になってきます…。まさか…癌？

自分のペットに腫瘍を見つけて、同じように心配になった飼い主さんもおられると思います。実際、ペットを撫でていて皮膚、または皮下に腫瘍を見つけた場合、どう対応したらいいのでしょうか？いろんなケースがありますが、今回は一般的にどうするのがペットにとってベストかというお話をしたいと思います。

例えば人間の場合、自分の皮膚に腫瘍、怪しいほくろなど見つけた時、皮膚科医の元へ行けば、大概の場合視診で良性か悪性か判断できるらしいですが、動物の皮膚・皮下腫瘍は人間のものと違って診ただけでは判断できません。おこげの腫瘍も表皮嚢胞が化膿しただけように見えても、悪性の腫瘍でもそのように見えるものもあるので安心できませんでした。診断を下すには、視診以外にも検査が必要になります。

検査には主に二種類あります。まず、針生検（fine-needle aspiration cytology）と言って、注射器の針の部分で腫瘍の細胞のサンプルを採り、その細胞を顕微鏡で見ても悪性の可能性のある細胞の有無を確認したり、元となる組織を判断したりするものがあります。限られた部位からサンプルを採るので、結果は100%正確とは限りませんが、ワクチンを打つような感じで診察室で患者が起きている間にできる比較的簡易な検査です。もう一方は、患部組織片を切り取るもの（切開生検・surgical biopsy）、または腫瘍自体をすべて取り除くもの（摘出生検・excision biopsy）などがあり、検査結果は前者より確実です。しかし、麻酔をかけて行うので検査の



最初のステップとしては踏み切りがたいところもあります。

おこげの場合は針生検の結果、多くの炎症細胞がみられ、悪性の細胞は見つかりませんでした。表皮嚢胞が化膿したか、他の何らかの理由で炎症が起きたと思われる、炎症が治まれば特に心配はないという結果になりました。これからも引き続き観察を続けて、腫れを繰り返したり、おこげが気にするのをやめない場合は切り取ることになります。

今回は幸い大事に至りませんでした。やはり早期判明が一番です。もし生検の結果、悪性の可能性があった場合、サイズが小さいうちにより完全に切り取ることができますし、そうすることによってさらに怖い他の組織への転移なども防ぐことができます。

毎日何気なくペットを撫でていると思いますが、定期的に体中をしっかりと触って腫瘍がないか確認してあげてください。もし何か見つけた場合は検査をして、観察しておくので大丈夫な良性のものかどうかを確かめることをお勧めします。特に、急に大きくなったり、質感が変わったりなど変化が見られた場合はすぐ検査を受けるのがベストです。家族同然愛情を注いで毎日一緒にいるペットでも、皮膚にできた腫瘍に気づかないことはよくありますし、短期間で格段に大きくなったりと色々なケースがありますが、早めに見つけて、「ああ、あの時検査して早めに手を打っておけばよかった!」と思うことが無いように、早期発見・早期治療を心がけましょう。

獣医 中村綾香: 10歳で米国ミシガン州へ家族と移住。ミシガン州立大学で動物学を専攻した後、獣医学部を卒業、獣医学学位と共に公衆衛生学修士を取得。現在は、東南ミシガン地方の小動物病院で勤務中。



イベント情報

Views | 01 | 17

特別イベント

2017年北米国際オートショー

North American International Auto Show 2017

Cobo Center, Detroit

1月8日(日) - 22日(日)

※ 一般は14日(土) から21日(日)

9:00am-10:00pm (9:00pm以降入場不可)・
1月22日(日) 9:00am-7:00pm (6:00pm以降
入場不可)

料金: 大人(一般)\$13 (E-ticketあり)
シニア (65歳以上)
子ども(7-12歳)\$7(当日券のみ)
6歳以下無料

問い合わせ: 248-643-0250

www.naias.com

毎年恒例の全米最大デトロイト・オートショー。
各自動車メーカーの最新動向を知ることができる。

アナーバー・レストラン・ウィーク

Ann Arbor Restaurant Week

Downtown Ann Arbor

1月15日(日) - 20日(金)

料金: ランチ \$15・ディナー \$28

問い合わせ: 734-668-7112

annarborrestaurantweek.com

アナーバーのダウンタウンにある多くのレスト
ランでこの期間、上記のディスカウント料金で3
コースの食事(または相当コース)を楽しむこと
ができる。参加しているレストラン詳細はウェブ
サイトにあるので予約は早めに。



デトロイトりんご会補習授業校

講師募集中!

デトロイトりんご会補習授業校では、
明るく元気で子供大好き、やる気溢れる
講師を募集しています。

詳細は www.jsd.org/teacherwanted を
ご覧ください。

※QRコード読み取り可能な携帯
電話で右記コードを読み取ると
りんご会ウェブサイトへジャンプ
します。



ノバイメドウズ校

25345 Taft Rd., Novi, MI 48375

注: 掲載のイベント情報に関しては、内容が変更される場合がありますので、必ずイベント主催者に確認して下さい。
また、掲載している内容に関し、いかなるトラブルが生じて、JBSDは一切責任を負いませんので予めご了承下さい。

フランケンムース・ゼンダースノーフェスティバル

Zehnder's Snowfest

Frankenmuth, MI

1月25日(水) - 1月30日(月)

問い合わせ: 800-863-7999

www.zehnders.com

毎年恒例となっているこのフェスティバルでは、
氷の彫刻のコンペが行われ、子どもたちの体験彫
刻も。週末はボニーライドや生演奏などもあり。
ゼンダースにはインドアプール、宿泊施設もあり
家族で楽しめる。

その他地区ウィンターフェスティバル

- Plymouth Ice Festival
1月6日(金) - 8日(日)
- Village of Rochester Hills-
Fire and Ice Festival
1月20日(金) - 22日(日)

ステージ

ミュージカル「オペラ座の怪人」

The Phantom Of The Opera

Detroit Opera House, Detroit

1月11日(水) - 22日(日)

火・水・金: 8:00pm

木: 1:00pm・8:00pm

土: 2:00pm・8:00pm

日: 2:00pm・7:30pm

(5歳以下入場不可)

セサミストリートライブ

Sesame Street Live: Let's Dance

Fox Theater, Detroit

1月26日(木) - 2月12日(日)

料金: \$15-\$65



問い合わせ: 313-471-6611

www.olympiaentertainment.com

長年愛されている人子どもTV番組「セサミスト
リート」のエルモとその仲間たちがデトロイトに
やってくる。大人気の子ども向けイベント。

今後の人気コンサート・イベント

Detroit Opera House

- www.broadwayindetroit.com
The Lion King
2月1日 - 26日

The Palace of Auburn Hills

- www.olympiaentertainment.com
Disney on Ice, Follow your Heart
3月23日 - 26日

森みゆきコンサート2017

「Love Your Life」

Miyuki Mori Concert 2017

with Dream Singers (10th anniversary)

Novi Middle School Auditorium

3月12日(日) 開演 3:30pm (開場 3:00pm)

料金: 大人 \$22 (前売)

子供 (3歳-12歳) \$11 (前売)

※ 当日券は前売 + \$5

問い合わせ: dreamsingers2016@gmail.com

NHK「お母さんと一緒」第15代歌のお姉さん「森
みゆき」と結成10周年を迎えるドリームシンガー
ズのコンサート。今年は「五大湖太鼓」もゲストに
迎え「LOVE YOUR LIFE」みんな力強く & 優しく生
きていこうというメッセージを歌や踊りで表現。

編集委員の独り言

トランプ次期大統領の就任前組閣準備
は様々な物議を醸し出しながら前進して
いる。オバマ大統領との初面談時の表情
を見ると重責のせいかもしれない。トランプ
氏の余裕に満ちた顔はなかった。有能な
リーダーの役割とは各人の長所を集めて
ひとつのグループとしての総合力を増す
こと。ビジネスマン特有の嗅覚で自分と補
完的な人物を今後も取り巻きに据えていく
のだと思う。国民の中に分裂をもたらした
トランプ氏のキャンペーン。既に柔軟な対
応は始めているが国民、ひいては世界民
の大統領として相応しい存在になってもら
えることを今は祈念するのみ。

一方、オバマ大統領のブログレシブ革命
は一旦小休止となるが、ヒラリー女史が得
票数でトランプ氏を上回ったことに見られ
る如く米国社会が今後も融和的成熟民主社
会を望んでいくのであれば2年後、4年後、
8年後必ずや復活してくる。

その時まで米国が強いもの、富めるもの
だけを優遇する様な社会に変貌しないこと
を今は重ねて願うのみだ。 Y.O.



Japan Business Society of Detroit
3000 Town Center, Suite 606
Southfield, MI 48075-1175



今月のトピック

- 在デトロイト日本総領事新年のご挨拶 1
- リレー随筆: 山登りとトレッキング! 3
- 留学生からの手紙 5
- 獣医さんのおはなし: “撫でる” 習慣 6

Views views@jbsd.org(編集部)

Views 関連連絡先: 皆様からのご意見、ご感想をお待ちしていますのでお気軽にお寄せ下さい。
投稿も大歓迎です。

www.jbsd.orgでもViewsをご覧いただけます。

今後のJBSD 行事予定

January

2017年新年会

日 時: 1月29日(日) 12:30pm-4:00pm
場 所: Suburban Collection Showplace
参加対象: JBSD 法人会員社員・個人会員・
会員家族と会員同伴者

February

スポーツ部会

ボウリング大会

日 時: 2月12日(日)
詳 細: www.jbsd.org

商工部会

PwC 自動車セミナー

日 時: 2月下旬
詳 細: www.jbsd.org



問合せ先: JBSD 事務局 248-355-4899 まで

JBSD 事務局移転のお知らせ

会員の皆様により便利で使いやすい事務所を目指して、2017年春にJBSD 事務局がNoviへ移転することが決まりましたのでお知らせ致します。

新住所は、42400 Grand River Ave. Novi, MI 48375です。本年3月下旬を予定しておりますが、具体的な日程につきましては改めてご案内申し上げます。

問合せ先: JBSD 事務局 Tel: 248-355-4899 E-mail: jbsdsmich@jbsd.org

事務局長だより

新年あけましておめでとうございます

「光陰矢の如し」のことわざ通り、2016年もあっという間に終わり、干支も「申」から「酉」になりました。各部会ならびに青年委員会のメンバー各位のご尽力と多くの会員のご参加のおかげにより、昨年のイベントを全て計画通りに無事終えることができました。改めてお礼申し上げます。因みに、調べてみたところ「申」という字は、樹木の果物が熟して固まっていく様子を表しているという説があります。また「酉」は、果実が成熟した状態を表すとの説があります。

さて、今年の秋は、大きなイベントとして既にお知らせしておりますとおり、JBSD法人会員、個人会員から頂いたご寄付により、DIA (デトロイト美術館) における常設の日本ギャラリー開設が予定されています。昨年は、当地の大学を含む関係組織のご協力を取り付け、総領事館、滋賀県のご支援を得てJBSDとしての準備が整ってきた年で、「申」のごとく計画が熟して固まってきた年であったのではないかと思います。この中で、ご尽力をいただいたJBSD幹部、ボランティア各位に事務局として少しでもお役に立つことができたとしたら大変嬉しく思います。

昨年在「申」のような年であったとすると、今年は「酉」の如く日本ギャラリーの完成によって、ご寄付をいただいたJBSD会員の皆様のご厚意が成熟する年になるように事務局としても全力を尽くしたいと思っております。本年もどうぞ宜しくお願い致します。